

<p>2. 事業の概要と成果</p>	
<p>(1) 上位目標の達成度</p>	<p>上位目標：健康的な生活スタイル推進の基盤がコミュニティ主体で構築される。</p> <p>シヨドル郡にて確立してきた地域レベルのNCDs 対策活動を、今年次後半でクルナ管区の9 ユニオンにて展開することができた。</p> <p>【ジョソール県シヨドル郡】</p> <p>ジョソール県シヨドル郡では、プロジェクトが育成した人材の協働、地域ぐるみの取り組みにより、対象地域住民の環境改善が推進された。</p> <p>具体的には、健康診断キャンペーンには、コミュニティクリニック（以下「CC」とする）および家族福祉センター（以下「FWC」とする）で76回（1年次からの累計187回）、村の中（脆弱エリア）で106回（累計248回）計182回（累計435回）実施され、10,230人（累計26,361人）が参加した。参加者のうち女性が占める割合は8割である。</p> <p>対象地域内全60CCが地域保健活動の年次計画（以下「LLP」とする）に非感染性疾患（以下「NCD」とする）対策を組み込んでいる。プロジェクトが育成したNCDs 対策ボランティアの数はコミュニティ・グループ（以下「CG」とする）メンバー566人、保健ワーカー170人、学校教師1,240人、ユニオン116人、地元グループ207人、女性グループ165人、計2,464人と目標値（1,720人）を超えている。</p> <p>【クルナ管区内9ユニオン】</p> <p>2017年8月からはシヨドル郡の成果をクルナ管区9ユニオンに普及活動を展開している。健康診断キャンペーンは8ユニオン（保健サービス局の要請でスクリーニングを実施し別計画で動いたジナイダ県のライグラムユニオンを除く）で各2回以上（計22回）実施し、1,552人参加した。また、全27のコミュニティクリニックがLLPにNCD対策を組み込んだ。LLPに組み込むまでの期間が短縮していることも特筆事項である。クルナ管区でのNCDs ボランティア育成はコミュニティ・グループから開始されており、次年度学校教師、ユースクラブなどに拡大し増やしていく予定である。</p> <p>先行案件の対象地域のフォローアップとモニタリングが行われ、プロジェクトのインプットが減少した後の各活動の継続状況を検証している。その成果と教訓を、現行事業の対策にフィードバックし、持続発展性の向上に役立てている。</p> <p>このように各事業目標の達成状況はほぼ順調であり、上位目標である「健康的な生活スタイル推進の基盤がコミュニティ主体で構築される。」は達成されつつあると言える。</p>
<p>(2) 事業内容</p>	<p>本事業は、バングラデシュで疾病負荷が深刻化するNCDsの罹患と重症化のリスクを低減させるために、日本の生活習慣病対策の要素を取り入れながら先行案件の成果を展開し、3年間で上位目標を達成する計画である。</p> <p>2年次にあたる本年は、ジョソール県シヨドル郡内で1年次に育成した非感染性疾患対策ボランティア（次に述べる（ア）と（イ）の活動を通じて）の数を増やすとともに、環境改善のために次の（ウ）～（オ）で述べるような活動を推進してきた。</p> <p>（ア）地域レベルのNCDs 対策活動の担い手を、「社会支援グループ」から、「コミュニティ・グループ」に移行するためのワークショップを開催する。</p>

(イ) 実地活動や研修を通じて「NCDs 対策ボランティア」を養成し、地域内の多様な組織を強化する。

(ア) と (イ) は 1 年次に実施した。

(ウ) (ア) と (イ) で育成した人材が協働し、脆弱層（特に女性、貧困者、患者）を主な対象として、地域ぐるみでの環境改善推進を支援する。

①CG が弱者に配慮した活動計画を作成し、健康診断キャンペーンを実施する。地理的(保健施設から遠い)・社会的(職業・宗教)に保健サービスを受けにくい人々に配慮して、特に対策が必要な地域として 175 のエリアを選定した。健康診断キャンペーンでは、CG および FWC で 76 回 (1 年次からの累計 187 回)、フィールドで 106 回 (累計 248 回) 計 182 回 (累計 435 回) 実施され 10,230 人 (累計 26,361 人) が参加した。参加者のうち女性が占める割合は 8 割である。

②NCDs 対策ボランティアによる啓発活動

実施主体	参加者数(人)		実施回数	
	2 年次	1・2 年次累計	2 年次	1・2 年次累計
保健ワーカー	102,581	185,032	10,503	25,289
ユースクラブ	9,630	26,285	606	1,572
宗教指導者*1	30,912	57,668	219	400
その他*2	4,900	4,900	206	206
計	148,023	273,885	11,534	27,467

*1 モスク、*2 女性グループ、教師、ユニオン関係者

③中学校における健康教育プログラム

第 2 年次に新 6 年生を対象に 83 校 4,656 人 (1 年次との累計 31,197 人) の生徒が NCD について学んだ。

④ターゲットエリア内の全 60CC、12FWC および 3 サブセンターが NCD の予防啓発と健康診断を開始した。

⑤健康診断の結果は全て CG のノートに記録をした。そのうち、見守りが必要な患者については、モバイル健康推進キャンペーンにて 86 人をフォローアップしている。また、DGHS からの要請を受け、各ユニオンから 1CC を選定し、その CC から県病院にリファラルした患者の追跡調査を 7 月末まで実施した。第 2 年次は 137 人 (1 年次からの累計 267 人) を県病院へリファラルし 57 人 (累計 125 人)、42% (47%) が受診し、医師の診断とアドバイスを受けている。

⑥地方行政機関ユニオンおよび女性グループが中心となり NCDs を克服するための環境改善を開始した。

⑦CG や NCDs 対策ボランティアが中心となり、脆弱エリアにてモバイル健康推進キャンペーンを実施し、502 人 (女性 416 人、男 86 人、1 年次からの累計 965 人では女性 760 人、男性 205 人) に対して改良かまどの設置、運動習慣、水質検査等の環境改善を促した。一般の人への予防効果の高い活動となっている。

⑧保健施設が安全な水を確保することを、コミュニティグループメンバーを含む NCDs 対策ボランティアを支援する。

シヨドル郡保健局より保健施設の井戸の修繕や掘削の要請があげられた。このため変更承認を受け、CG 内の井戸 5 基の修復を行った。

(エ) 先行案件と本事業の対象地域 (シヨドル郡) でモニタリングと効果検証を行う。

2016 年 4 月に新 11 ユニオンにおいて各 100 人計 1,100 人に対す

るベースライン調査を、2017年2月に550人に対して中間フォローアップ調査を行った。先行案件4ユニオンに関しては、2015年11月のフォローアップ調査の結果を活用し両者を比較した。

先行案件を含め4年半活動してきたジョソール県シヨドル郡保健関係者との8月8日のワークショップにおいて、これまでの進捗状況、プロジェクトからのグッドプラクティスや教訓、NRIキャンペーンや継続および患者フォローアップなどを継続的に実施していくことに関して協議がなされた。

(オ) プロジェクトを通じて得られた教訓とスキルをクルナ管区の他のユニオンに普及する。

①(エ)で得られた成果・教訓を元に、保健サービス局（中央レベル、対象地域を管轄する郡・県・管区保健事務所）と、持続可能なモデルと成果の普及について協議をする。

8月よりクルナ管区内9県9ユニオンにエリアを拡大し活動を実施した。それに先駆けて保健サービス局 NCD 対策課と連携協定を交わし、8月20日にクルナ管区会議を実施する中でクルナ管区10県の県保健局医務官等関係者に対してプロジェクト説明、今後の活動計画およびバ国の NCD 保健政策について協議した。

②プロジェクトが健康診断ガイドブックを作成する。

1年次に作成したガイドブックに、8頁を増頁し、スクリーニング実施方法など成果教訓、提言内容を追記して改定した。

③クルナ管区9ユニオンで研修等を実施する。

すべてのユニオンで、ユニオン研修（健康診断キャンペーン実施）、ユニオン研修（飲料水砒素検査）、保健ワーカー研修（非感染性疾患の予防と管理）、コミュニティグループワークショップ（非感染性疾患の管理に関する）、Exchange visit を実施した。

④ クルナ管区9ユニオンで健康診断キャンペーンを実施する。

関係機関の協力により22回実施し、1552人（男性337人、女性1,215人）が参加した。

⑤ セミナー実施や他の機会を通じて成果を普及する。

NHK 国際放送局とバングラデシュ国営ラジオベタールが共同でラジオ番組を制作した。（3月20日と27日にバングラデシュ、日本、世界で放送された。）12月7日、WHO と保健サービス局主催の Workshop on implementation of PEN package of Major NCDs に参加し、本事業の成果を報告した。

⑥ 最終報告書を作成する（3年次）

⑦ NCD スクリーニング調査を1地区で実施する（新たに追加した活動）。

現地政府の保健省保健サービス局の非感染性疾患対策課は、第4期保健セクター計画の中で、25歳以上の男女を対象として非感染性疾患に関する業務を、200郡で開始する予定になっているものの、具体的な実施方法を決定するまでには至っておらず、試行的な実施および基礎調査をするにあたり、非感染性疾患対策を2013年より実施している当団体に協力要請した。外務省との協議の結果、対象地域の1ユニオン（ジナイダ県カリゴンジ郡ライグラム）の25歳以上の男女全住民を対象とし、血圧値、体格指数(BMI)等を測定し、特に地域内の高血圧の症状を有する住民をスクリーニングすることを実施することとなった。（変更承認提出）この調査は11月~2月まで実施された。

	男性	女性	合計
人口	11,452	11,604	23,056
25歳以上	6,406	7,180	13,586
測定者	4,259	6,868	11,127
未測定	2,147	312	2,459

繰り返し訪問しても会えない人がいたものの、対象者の82%の測定を実施した。高血圧の症状(140/90)を持つ人は、測定数の34%3,718人に上った。

(3) 達成された成果

事業全体の裨益者

シヨドル郡内強化対象者

強化対象者	研修参加者数		活動者数	
	達成目標	達成状況	達成目標	達成状況
CGメンバー	1,020人	685人	420人	566人
保健ワーカー	189人	176人	155人	170人
学校教師	920人	1,240人	736人	1,240人
ユニオン	110人	116人	110人	116人
地元グループ	198人	207人	198人	207人
女性グループ		165人	110人	165人
計	2,437人	2,589人	1,729人	2,464人

地域の実態に合わせて、所属ごとの目標数に変更はあったものの、目標数に達している。

(ア) コミュニティ・グループ(CG)に地域レベルのNCDs対策活動が移行される。

状況：1年次に終了

(イ) NCDs対策ボランティアが育成され、地域内の多様な組織がNCDs対策のために強化される。

育成されたボランティア数：計2,179人

① NCDs対策の実施者となるCGメンバーの数

達成目標：1年次 240人(60CG×各4人)

2年次 180人(計420人)

達成状況：566人(ワークショップ参加者は685人)が健康診断キャンペーンに主催者として参加(後方支援含む)。

② NCDs活動を推進する保健ワーカーの数

達成目標：1年次 124人

2年次 31人(計155人)

達成状況：170人(研修を受けた176人のうち、6人は定年退職した)。啓発活動、健康指導、レファラール、フォローアップなどを実施。データ管理や部下の指導を行う管理職を含む。

③ ユニオン、学校、ユースクラブ等で活動する健康推進ボランティアの数(研修受講者は計1,525人を予定)

達成目標：2年次 1,151人

達成状況：1,728人

組織・グループ名	人数
ユニオン評議会	116人
女性グループ	165人
学校教師	1,240人
ユースクラブ/コミュニティサポートグループ等	207人
計	1,728人

(ウ) (ア)と(イ)で育成した人材が協働し、脆弱層(特に女性、貧困者、患者)を主な対象として、地域ぐるみでの環境改善推進を支援する。

①各ユニオンが健診キャンペーンを30回ずつ実施する(15ユニオン)

達成目標：1年次 10回（全15ユニオン）

2年次 10回

3年次 10回

達成状況：第2年次において全15ユニオンで計182回を実施。最低回数6回、最大15回であり、旧4ユニオンの2ユニオンは2年次10回を達成できなかったものの、1年次からの累計では目標の20回を超えている。旧ユニオンの実施回数が少なかった理由としては、デジタルの血圧計の調達ができず、CC外でのキャンペーンが困難だったことが影響しているが、CCの通常業務の中での健康診断の実施数は確実に増えている。

ユニオン	1年次		2年次		累計	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
旧4ユニオン						
Arabpur	16	835	6	474	22	1,309
Basundia	15	876	10	426	25	1,302
Churamankati	15	621	11	306	21	927
Diara	15	628	8	450	23	1,078
新11ユニオン						
Chanchra	19	1,380	13	683	32	2,063
Fathepur	18	1,089	15	762	33	1,851
Haibatpur	16	1,178	12	636	28	1,814
Ichhali	18	1,289	16	878	34	2,167
Kachua	18	1,182	14	787	32	1,969
Kashimpur	17	967	11	693	28	1,660
Labutala	15	1,116	10	665	25	1,781
Narendrapur	19	1,309	13	777	32	2,086
Noapara	17	1,039	15	781	32	1,820
Ramnagar	18	1,363	14	824	32	2,187
Upasahar	17	1,259	14	776	31	2,035
計	253	16,131	182	9,918	430	26,049

②健康教育をうける中学生の数

※シヨドル郡11ユニオンの85校約4.1万人

※計画では92校であったが、実際には85校であった。

達成目標：1年次 24,600人

2年次 36,900人（累計）

達成状況：1年次は学校85校の26,541人に実施した。

2年次は新入生（6年生）を対象にこれまでに85校中83校4656人に実施し、累計31,197人となっている。

③NCDs対策を行うコミュニティクリニックの数（全60CC8割以上）

達成目標：1年次 38CC

2年次 45CC（累計）

達成状況：全60CCが地域保健計画にNCD対策を組み込み実施している。

④環境改善（ヒ素検査プログラム実施、改良かまど・家庭菜園・運動習慣形成の推進）を実施するユニオン数（全体数15）

達成目標：1年次 10ユニオン

2年次 13ユニオン（累計）

達成状況：13 ユニオンで環境改善が行われたが、ユニオンによって内容には差がある。2 ユニオンはユニオンの問題があり、活動が停滞している。今後はさらにNCD 活動のためのユニオンの調整能力と資金調達能力の強化が望まれる。

⑤健康診断キャンペーンを受ける女性の数

達成目標：1 年次 7,500 人

2 年次 7,500 人

達成状況：1 年次は、13,041 人（253 回実施、全参加者は 16,131 人）であった。2 年次は、8187 人（182 回実施、全参加者は 10230 人）である。

⑥安全な水を確保している保健施設の割合

達成目標：2 年次：8 割

達成状況：83%達成 2 年次 5 基修復

確認方法：郡保健所からの報告

(エ) 先行案件と本事業を通じて得られたデータの分析結果が、本事業の活動に活かされる。

達成目標：先行案件の対象 4 ユニオンと、本案件で新たに対象地域となる 11 ユニオンの「住民の意識・行動および地域の保健サービス」に関する差が数値で示される。

達成状況：2017 年 2 月の調査で、11 ユニオンの住民の意識・行動は、旧 4 ユニオンにほぼ近づいていることが明らかになった。次の FUS は 3 年次に予定されている。

実施時期	2015 年 10 月	2016 年 4 月	2017 年 2 月
地域	旧 4 ユニオン	新 11 ユニオン	
回答者数	479 人	1100 人	550 人
NCD に対する知識	91.0%	0.8%	76.7%
NCD の名前 (1 つ以上)	90.8%	0.8%	77.1%
危険因子 (1 つ以上)	98.5%	6.5%	87.6%
かけ塩の習慣	41.3%	93.0%	57.6%
ヒ素検査実施	82.0%	2.6%	9.5%
改良かまどの設置	35.0%	7.7%	19.8%
血圧測定習慣	78.0%	9.6%	66.2%
野菜摂取量	337 g	235 g	329g

<その他の発見>

健診キャンペーンの出口調査で、「正常血圧の範囲を知っているか」との質問を行ったところ、正しい知識を持つ人の割合は先行案件から NCD 活動 5 年目の 4 ユニオンが、活動 2 年目の新 11 ユニオンよりも良い結果が出た。

ただし、旧 4 ユニオンの中でも都市から最も離れたボシュンディアユニオンは 1 年目、2 年目とも他のユニオンに比べて理解していない人の割合が 10%ほど多く、知識の浸透に時間がかかることが分かった。なお、ボシュンディアユニオンは様々な活動への参加率は最も高い地域である。このような地域ごとの特色も今後の活動に活かせる可能性がある。

コミュニティ・クリニック (CC) の運営母体であるコミュニティ・

グループ (CG) は、政府のガイドラインにより地域保健活動の年次計画 (LLP) を策定することとなっている。現在、対象地域のシヨドル郡 15 ユニオン全 60CG とクルナ管区内 9 ユニオン 27CG は、それぞれ LLP に NCD 対策を組み入れている。ただし、LLP に組み込まれるまでにかかった時間を見ると、シヨドル郡では約 20 ヶ月かかっているのに対して、クルナ管区では平均 4 ヶ月で組み込まれており、NCD 対策が LLP に入るまでの所要期間が大幅に短縮していることがわかる。蓄積した経験の活用により、効率性が高まった好事例と考えることができる。

(オ) プロジェクトを通じて得られた教訓とスキルをクルナ管区の他のユニオンに普及する

① クルナ管区普及対象ユニオンにおいて、各ユニオンが健診キャンペーンを 2 回 (計 5 回) 実施する。

達成目標：各ユニオンで 5 回 (9 ユニオン)

2 年次 各ユニオン 2 回ずつ

3 年次 各ユニオン 3 回ずつ

達成状況：スクリーニングを実施したライグラムユニオンを除く 8 ユニオンで、2 回以上 (最大 5 回) 計 22 回の健診キャンペーンを実施し、1552 人が参加した。女性の占める割合は 8 割である。ライグラムユニオンについては、3 年次に実施する。

県	郡	ユニオン	回数	参加者数
Chuadanga	Damurhuda	Howli	3	235
Magura	Salikha	Sharbati	3	197
Kustia	Mirpur	Ambaria	3	207
Bagherhat	Kachua	Raripara	2	127
Khulna	Dakope	Bajua	2	140
Narail	Kalia	Babra Hachla	2	121
Satkhira	Tala	Jalapur	5	420
Meherpur	Gangni	Shtakhali	2	105
合計			22	1,552

② NCDs 対策を行うコミュニティクリニック (CC) の数 (全 27CC 8 割以上)

達成目標：2 年目 6CC

3 年目 17CC

確認方法：普及地域の CC の活動記録、プロジェクトのモニタリング記録

達成状況：全 27CC が地域保健計画 (LLP) に NCD 対策を入れて実施中

② 健康診断ガイドブックが完成する。

達成目標：1 年目 1500 部

2 年目 1500 部 (修正版)

達成状況：2 年次 1500 部 (計 3000 部) を作成した。

④ NCD スクリーニング調査の教訓を健康診断ガイドブックと報告書に反映する。

確認方法：ガイドブックと報告書

達成状況：昨年度作成したガイドブックを 8 頁増頁し、以下の内容を組み込んだ。バングラデシュ政府 (保健サービス局) の NCD 患者

	<p>の同定と管理に関する最新の戦略、SDGs に掲げられたユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向けて NCD 対策を進める際、配慮すべき 4 つの視点（Accessibility, Affordability, Availability, Acceptability）、およびコミュニティクリニックでの NCD のサービスである。さらに本事業の経験を踏まえ、</p> <p>①保健ワーカーの監視のもと予防接種会場（EPI）やサテライトクリニックで健康診断キャンペーンを実施する意義、</p> <p>②住民のリスク回避のためにマルチセクターアプローチの重要性、</p> <p>③リスクの早期発見のためには学校保健に NCD 教育を加えることの有効性</p> <p>などの提言を追記した。</p> <p>また、本スクリーニングは、スマートフォンのアプリを活用し、オンラインで入力・集計する方法をとったが、その方法をワークショップ等で発表したところ、バングラデシュ政府関係者の関心を集めた。</p> <p>本事業は SDGs 持続的開発目標との関連においては、特に目標 3 「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し福祉を推進する」との関連が強い。具体的には</p> <p>3.4: 2030 年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させ、精神保健および福祉を促進する。</p> <p>3.9: 2030 年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質および土壌の汚染による死亡および疾病の件数を大幅に減少させる。</p> <p>3.a: すべての国々において、タバコの規制に関する世界保健機関枠組み条約の実施を適宜強化する。</p> <p>である。</p> <p>本事業は対象地域内の主な NCDs のリスク要因（①不適切な食事、②運動不足、③タバコ類及び室内空気汚染、④砒素による水質汚染）を取り上げ、これらのリスクの低減/排除を推進し、健康の維持・増進に努めている点において持続的開発目標の達成に貢献している。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>【ソフト面】</p> <p>2017 年 7 月に実施団体アジア砒素ネットワークは政府保健サービス局と連携協定（MOU）を交わし、継続的な協力関係を書面で確認することができた。NCD 政策を推進する保健サービス局、WHO、ICDDR（国際下痢研究所）などが主催するワークショップに招待され、発表する機会を得ることができており、成果教訓が政策レベルで活用されることが期待できる。</p> <p>フィールドレベルでは、対策を継続できる人材を 2,500 人以上育成してきたこと、ガイドブックを作成し配布していること、地域保健計画（LLP）に組み込まれたことから今後も NCD 対策が根付くことが期待できる。</p> <p>ただし、課題としては、コミュニティクリニック（CC）の役割と保健スタッフ（CHCP）の業務の整備が進むにつれ、CHCP が CC の外で活動することが難しくなり、これに伴い CC が所有する血圧計（アナログ）を村に持ち出すことが厳しくなっている。村での健康診断キャンペーンには、非医療従事者が測定できるデジタル血圧計が必要であり、これを地域ごとにいかに確保するかが今後の課題となる。（現在はプロジェクト所有のデジタル血圧計を貸与している）</p> <p>【ハードの持続可能性】</p> <p>本事業で修復したシヨドル郡内の保健施設（CC、FWC およびサブセンター）における井戸の維持管理は、保健局の監督の元、各保健</p>

	機関、コミュニティ・グループが実施する計画である。
--	---------------------------